

# 二十歳の思い 新たに

平成14年4月2日から平成15年4月1日生まれの221人を対象に、8月15日に二十歳のつどいが開催されました。本号では式典当日の様子をお伝えします。



自身の経験を伝える永井氏



華やかなドレスをまとった旧友たちと記念に一枚



参加者に式辞を贈る佐々木市長



真剣な表情で式典に臨む



恩師との再会を喜ぶ



記念撮影をする参加者



市企業PRコーナーを興味深げに見る参加者



フォトスポットでにぎやかに記念撮影

二十歳のつどいは8月15日、市総合運動公園体育館で行われました。令和5年度の対象者は221人で、当日は141人が出席。スーツや華やかなドレスに身を包んだ参加者は、旧友らと久しぶりの再会を喜びました。

式では、佐々木孝弘市長が「人とのつながりや共感を大切にしながら、より豊かな人間関係を構築し、自らの成長につなげてほしい」と期待を込めてあいさつ。対象者を代表し、荒川瞳愛さん・安代中卒さんが二十歳という節目を生まれ育った市で多くの仲間と迎えることができていると喜び、今日が二十年間のゴールラインであり、これからのスタートライン。感謝の気持ちと市で生まれ育った誇り、そして社会人としての責任感を持ってこれからの人生を歩んでいきたいと誓いのことを述べました。

式典に引き続き、永井秀昭さんが「夢中になれる事」と題し記念講演。自身の経験から「夢中になれるものを見つけること」「若さとは可能性。失敗を恐れずさまざまな事にチャレンジしてほしい」とエールを贈りました。

二十歳を迎えた皆さんはさまざまな思いと自覚を胸に新しい一歩を踏み出しました。

## 参加者に聞きました

## 20歳の思い



安代中卒  
佐藤 七花さん

### 地域の良さを再発見

国際関係を詳しく学ぶため県外の大学でロシア語を勉強しています。県外に出て、安代は人とのつながりが強固だと思いました。将来は地元に貢献できればと思います。

### 温かい家庭を築く

市内で車両販売の営業マンをしています。今日は同級生と会うのを楽しみにしてきました。将来は、今の自分の家族のような家庭を作りたいです。



松尾中卒  
古川 稜久さん



西根第一中卒  
佐々木 洸嵩さん

### 農業の無人化に貢献

東京の大学でプログラミングを学んでいます。将来は、農作業で使う機械のセンサーやカメラなどを動かすプログラムを開発し、農業の無人化に貢献したいです。

### 目標は管理栄養士

野球部のマネージャーをしていた時に、栄養管理の講座を受けたことがきっかけで、大学で栄養や健康のことを学んでいます。管理栄養士の資格取得を目指しています。



西根中卒  
渡邊 天每さん